

poco

## ZEFIRO

カトリック桂教会広報誌

Vol.19

2023年 復活祭号

編集・発行

カトリック桂教会広報部

## 主のご復活 おめでとうございます



## ノリ・メ・タンゲレ [我に触れるな]

ヨハネによる福音書20章17節  
イタリア盛期ルネサンス期画家  
コレッジョ作 (1525年頃)

## 担当司祭 一場 修

皆様、主の御復活おめでとうございます。私たちは、5月28日の聖霊降臨の主日まで復活祭を祝います。日々、祝い続けます。

十字架上で死んだイエスは、復活しました。復活して、弟子たちに現れました。復活したイエスに出会った弟子たちは、劇的に変わりました。恐れて、沈黙を保っていた弟子たちは、喜んで福音を宣べ伝え始めました。弟子たちの生き生きとした姿を見て、人々は、イエスが復活したことを知りました。復活して生きていることを知りました。私たちも、復活された主に出会いました。出会って、今、主とともに生きています。

主に出会ったという同じ体験をした仲間とともに、毎日を生きています。私たちが生きている姿は、主が生きておられる姿です。私たちが悲しむ姿は、主が悲しまれる姿です。私たちが喜ぶ時、主が喜んでおられます。私たちの愛は、主の愛を伝える福音です。

私たちが教会は「キリストのからだ」となっています。キリストのからだとは、愛を生きておられるキリストのことです。そして、愛を生きている私たち教会のことです。私たちは、洗礼によって、キリストのからだとなりました。聖体を分かち合うことで、キリストのからだとして生き続けています。もちろん、私たち教会には、いろいろなことが起こります。愛を生きるこ



しかし、主が復活されたように、私たち教会も復活します。復活し続けます。日曜日は、主日と呼ばれ、主の復活を祝う日です。主の復活を祝う時、私たち教会も復活します。主の復活を信じるということは、私たち教会の復活を信じるということなのです。

私たちが、日々復活し、主の愛を生き続ける時、この世界で、主が生きておられるという福音が実現していることになるのです。主の復活を生き続けることで、復活の喜びを、世界に告げ知らせていきましよう。

## 灰の水曜日

平日のミサにもかかわらず、たくさんの方が教会に来てくださいました。お天気も気温は低いものの、カラッと晴れた、気持ちのよい日でした。

典礼は灰の水曜日から四旬節に入ります。神父様の祭服も紫に替わりました。

私たちは、灰の水曜日から40日間、復活祭を迎えるための準備期間です。



☆・☆ 『灰の式』では、「土から出て土に帰っていく私たちが、四旬節の努めに励み、罪の赦しを受けて新しいいのちを得、復活された御子の姿にあやかることが出来るように」願って、昨年、枝の主日に祝福していただいた、棕櫚(しゅろ)やオリーブの枝を燃やした灰を、司祭が一人ひとりの額にかける式が行われます。

灰を受けた私たちは、自分に頼るのではなく、回心呼びかけておられる神に信頼して生きるこ

とが出来るように願います。☆・☆・☆・☆・☆

(女子パウロ会オンライン参照)

日時

2月22日 午前11時半

司式

エミリオ・フォルトゥール神父



今日から四旬節に入ります。私たちは復活祭に向けてよい準備をいたしましょう。

福音朗読

マタイによる福音書・マタイ6・1

見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意しなさい。さもないと、あなたがたの天の父のもとで報いをいただけないことになる。

あなたは施しをするときには、偽善者たちが人からほめられようと会堂や街角できるように、自分の前でラッパを吹き鳴らしてはならない。

施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。……

祈るときにも、あなたがたは偽善者のようであってはならない。偽善者たちは、人に見てもらおうと、会堂や大通りの角に立って祈りたがる。……だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。……

断食するときには、あなたがたは偽善者のように沈んだ顔つきをしてはならない。偽善者は、断食しているのを人に見てもらおうと、顔を見苦しくする。……あなたは、断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。それは、あなたの断食が人に気づかれず、隠れたところにおられるあなたの父に見ていただくためである。……

……そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。